

一般社団法人 おおさき青年会議所

2023 年度 花火大会プロジェクト 基本方針

副理事長 草刈宏明

1. 基本方針

おおさき青年会議所はいつの時代も変わらない地域への愛情をもって運動を展開しており、その一つが地域の夏の風物詩であるおおさき花火大会です。子供たちの心におおさきの原風景を残すという目的のもと会員一丸となり開催した 2022 年度は花火大会の開催に対する感謝、花火を見て子供が喜ぶ姿を久しぶりに見られたとの親からの声、来年も開催して欲しいとの要望で溢れており、多くの人々に感動を与えました。これは、おおさき青年会議所が花火大会の成功に向け一丸となり尽力し、それに呼応するかのよう地域が共鳴したことで生まれた感動です。本年度も地域と想いを共鳴させ、夜空に上がる大輪の花が地域とそこに住まう子供たちを煌々と照らす花火大会を開催する必要があります。

まずは、未来を担う子供たちの郷土愛を育むおおさき花火大会を、時代の機微を捉えたうえで効果的かつ効率的に運営するために実行委員会を設置し、2009 年度の復活以来花火大会の成功を紡いで作成されてきたフォーマットを本年度の世相に合わせて実行することで、安全安心な花火大会への準備が万全なものになります。そして、会員の花火大会開催に向けた動機付けを確かなものにするために、おおさき花火大会が地域にもたらす効果を再認識し、花火大会開催への地域の期待を知り、それに伴う地域を巻き込んだ一連の運動の仕組みを理解することで、会員の花火大会に取り組む姿勢に主体性が生まれます。

空舞う花火がおおさきを照らす眩い光の流線と高らかな音色を「綺麗」「美しい」「素晴らしい」と感じる体験は子供たちの情操を育み、やがて地域への愛着につながります。幼少期に体験した鮮烈な記憶は大人になっても心に生き続け、我々がそうであるように同じ経験を子にさせたいと願うのです。このサイクルが次世代の担い手を育む土壌となります。花火が過去と未来の人々を煌々と照らし世代を語り継ぐ、その大きな循環を巡る担いに本年も取り組んでいきます。

2. 事業計画

(1) おおさき花火大会実行委員会の設置

【目的】

効果的かつ効率的な花火大会の運営

【手段・方法】

おおさき花火大会実行委員会の設置

(2) おおさき花火大会の実施に向けた準備

【目的】

おおさき花火大会の開催に向けた動機付けを確かなものにする

【手段・方法】

おおさき花火大会の運動を理解する事業の実施

(3) 例会主管（4月）

【目的】

おおさき花火大会の開催に向けた動機付けを確かなものにする

【手段・方法】

おおさき花火大会の運動を理解する事業の実施